



## 子どもたちの笑顔に日々、支えられています

授業づくりや学級経営など未熟で、毎日が勉強です。辛いことも落ち込むこともあります。子どもたちの成長を日々近くで感じることができ、好きなことについて一緒に話す時や、「この前、試合で勝った！」など喜びをともに分かち合えることが私の支えになっています。子どもたちと話すとき一人ひとりを認めるだけでなく、子どもたちの笑顔を見ることができると嬉しくなります。

また、先輩の教職員の方々などのサポートもあり、とても心強いです。子どもたちの成長とともに、刺激を受けて日々成長できるところが、教員の魅力のひとつだと思います。ぜひ、大阪府で一緒に働きましょう。待っています！

八尾市立 南高安中学校  
教諭 三好 智子 さん

# Real Voice

「感動の瞬間」も「シビアな現実」も  
充実の毎日を先輩先生が  
本音で語ります！

ついこの間まで  
同じ立場の先輩が贈る  
メッセージ

Check!!

先輩への  
インタビュー  
はこちら



## 食を通して健康と成長を支える

給食時間に感染症対策で黙食の中、笑顔とハンドサインなどで工夫しておいしいと伝えてくれる姿、給食の返却時に「今日の給食おいしかった！苦手なものも食べた！」と嬉しそうに伝えてくれる姿、手を合わせて「ごちそうさまでした！」と調理員さんに伝える姿を見ると、とてもうれしい気持ちになります。

学校全体で食育をすすめていくためには、調理員さんと連携しながら、安全・安心でおいしい給食を提供することが基本だと考えています。栄養教諭の専門性を生かし、子どもたちに食の大切さを伝え、食を通して健康と成長を支えられるよう、私自身も日々学び成長し続けたいです。

茨木市立 春日小学校  
栄養教諭 大槻 安未 さん



## 生徒とともに成長する日々

教員になってすぐの頃は、思い描いていたような授業ができず、授業が終わる度に落ち込んだり、悩んだりしていました。今でもそのような気持ちになることはよくあります。しかし、その度に「どのようにしたら生徒がより成長できるか」を考え、日々試行錯誤しています。うまくいかないことがある中でも、生徒が一生懸命学んでいる姿を見ると「私ももっと頑張ろう」と思うことができ、それは自分自身の成長にもつながっています。

教員は、生徒の成長に関わることができるだけでなく、自分自身も成長することができる仕事です。きっと、この先何年たっても学ぶことがたくさんあると思います。一緒に大阪府で教員として働き、ともに成長していきましょう。

大阪府立 業島高等学校  
教諭 重田 優衣 さん



## 笑顔とともに一緒に学び、育つ

教員生活が始まってすぐの頃は自分が子どもたちに何ができるのか、不安を感じることも多くありました。今では、周りの教職員に相談し、アドバイスをいただけるようになりました。子どもたちが自分のできることにチャレンジできるような支援や指導に日々取り組んでいます。子どもたちが挑戦し、できるようになった時の笑顔を見ると、嬉しい気持ちになります。教員になってよかった」と心から思います。子どもたちのために何ができるかを考え、実践していくことで、自分自身も成長していると感じます。教員は、子どもたちの成長を間近で見られるだけでなく、自分自身も成長できる魅力的な仕事です。ぜひ、一緒に支援学校で働きましょう！

大阪府立 佐野支援学校  
教諭 竹内 宗 さん

## キャリアステージに応じた資質・能力の向上

「OSAKA教職スタンダード」は、共通に求められる資質・能力を、教員等の経験や適性、職責に応じて「第0期」から「第4期」までの5段階のキャリアステージに分けて整理しています。大阪府では「OSAKA教職スタンダード」に基づいて、教職のキャリアステージに応じた研修体系を設け、学び続ける教員を支援しています。



## 増えていく教師としてのやりがい

赴任して最初の2、3年は教師という職業の難しさや自分の未熟さを実感しながらも、一生懸命生徒と関わりました。身も心も子どもから大人へ成長する貴重な3年間に携われる仕事に就いていることがやりがいとして大きくなっていきます。4年目以降は担任業務だけでなく、生徒会の主担当や学年生徒指導などの役割も任せていただき、自ら考え自分たちで学校を創る生徒の育成にも携わっております。学年や学校全体の業務や、それに関わる教職員との連携など、うまくいかない難しい日々も感じますが、私を育ててくれた本校のより良い学校づくりに貢献できるといった新たなやりがいを感じながら、一日一日奮闘しております。

和泉市立 和泉中学校  
教諭 小川 純平 さん

## わたらしく役割と向き合う

支援学校(中学部)の教諭として、生徒たちと濃厚にかけがえない時間を過ごしました。そのなかで、校務を円滑に務めるための秘訣を、メンターである先輩教員から教わることができました。推薦を受けて首席選考に合格し、8年目に首席として、校内組織や会議の運営、特色ある学校運営の中軸を担うことになりました。府内で児童生徒数最大の支援学校の学校運営に携わるという使命感を抱き、教職員間の調整役を担うと決意して、今年で4年目をむかえます。課題解決に向けて、それぞれの立場や気持ちに寄り添い、状況や背景なども考え合わせながら関係する方々と連携しています。自分自身の学びの機会にもなり、貴重な経験を重ねられていると感じています。

大阪府立 豊中支援学校  
首席 上戸 伸恵 さん

## 子どもも教職員も笑顔のために

小学校教諭として、通常学級担任、過級指導教室担任、支援学級担任などいろいろな立場を経験しました。その後、教育委員会が7年間勤務、国や大阪府の動向や情報を広い範囲で知ることができ、様々な角度から考えていくことができました。そして、初めて教頭として現在の学校に赴任しました。毎日、教職員とともに様々な背景をもつ子どもたちに向き合い、寄り添い、悪く言い、命の大切さを伝えながら日々奮闘しています。子どもたちが安全で安心して活躍できる学校づくりをめざしています。また、教頭として教職員と子どもたち、保護者、地域の方が温かくつながり合うことができるよう支援していくことも、重要な仕事であると感じています。

岸和田市立 八木南小学校  
教頭 松本 真里 さん

## 感性を育て感性を生かす

保健体育科教諭として勤務したのち、大阪府教育委員会主任指導主事を経て、校長職に就かせていただいている現在、学校運営の難しさや、厳しさを感じる毎日ではありますが、教育すべきことは、感性を育て、生かすことであると感じます。教科書ではなく、一人ひとりの教職員の生き方や考え方を押し付けるのではなく、生徒に何かを感じさせるような取り組みで、多感な時代を生きる生徒たちとしての成長を促し、育てることができるそんな教職に強くやりがいを感じています。また、教職員どうしが常に向き合い、感性を磨きながら生徒と学校生活を送れるような魅力ある学校づくりに大いにやりがいを感じ、奮闘しています。

大阪府立 桜和高等学校  
校長 川口 伊佐夫 さん



## 子どもたちの未来の力になりたい

教員には、授業力や集団をまとめる力、コミュニケーション力など様々な力が必要です。4月当初は、子どもたちの姿に力をもらいながらも、わからないことが多く、うまくいかない日々をすごしていました。でも、周りの教職員の支えもあり、今まで自分の中にはなかった考えが芽生え、自分自身が成長していくにしたがって、子どもたちから「先生できた」「先生ありがたう」という言葉をもらったり、子どもたちの成長する姿を見ることができるようになって、今ではとてもやりがいのある仕事だと感じています。

これからも、「子ども」を主語にして子どもたちに寄り添いながらともに成長していける、そんな教員であり続けたいと思います。

貝塚市立 中央小学校  
教諭 藤江 勇起 さん



## 魅力ある養護教諭の仕事

他県で養護教諭として働いていたため、環境の変化や違いに戸惑うこともありました。しかし、子どもたちの笑顔や素直さはどこに行っても変わりません。毎日、少しずつ変化し、成長していく子どもたちにも元気な姿をもらっています。養護教諭は全校の児童生徒に関わることができる素敵な仕事です。他の教職員と一緒に子どもたちの成長を喜ぶことができます。「保健室はなんかならんけど落ち着くねん」、「先生と話したらすっきりした!」、中には「先生のような保健室の先生になりたい」と言ってくれる子どもたちがいます。私はそんな言葉や子どもたちの成長に携われるこの仕事にとてもやりがいと誇りを持っています。

守口市立 金田小学校  
養護教諭 古田 菜那 さん

## 令和5年度 校種等別志願者数・受験者数・合格者数

校種等	志願者数(人)	受験者数(人)	最終合格者数(人)	倍率(倍)
小学校	1,630	1,474	473	3.1
小中いきいき連携	90	84	50	1.7
中学校	1,834	1,640	388	4.2
高等学校	1,808	1,536	174	8.8
支援学校(幼稚部・小学部共通、小学部)	264	233	87	2.7
支援学校(中学部)	157	141	44	3.2
支援学校(高専部)	136	119	25	4.8
支援学校(自立活動(身体不自由教育))	1	1	1	1.0
養護教諭	407	362	25	14.5
栄養教諭	114	98	10	9.8
合計	6,441	5,688	1,277	4.5

## 合格者数(全校種合計)と最終倍率の推移

